健康経営戦略レポート

2026年10月1日

株式会社 PILLAR

発行 株式会社PILLAR

Contents

1 健康経営の位置付け

2 健康経営推進の背景

3 健康経営の目標指標の考え方

4 健康経営戦略マップ

健康経営の位置付け

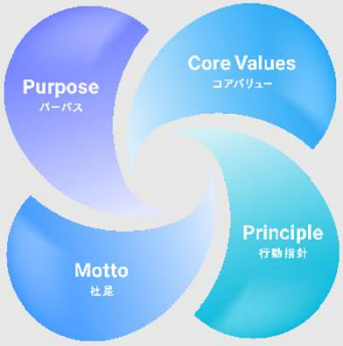
●当社グループでは、人的資本への投資を経営戦略の実行に必要な組織能力を高めるための重要な取り組みと位置付け、経営理念を実践するための価値観「PILLAR CORE VALUES」を軸とした人的資本経営を推進しています。

●2026年度からスタートした中期経営計画「One2030」において、「攻めのサステナブル経営」を基本方針の1つに定め、経営戦略に連動した人財戦略を推進し、その具体的施策として健康経営を推進しています。

経営理念

社是

品質第一　和衷協力　一歩研究



パーパス

“社会を支える”未来を創る

CLEAN　SAFETY　FRONTIER

PILLAR CORE VALUES

Integrity 誠実	プロフェッショナルとして、高い倫理観を持ち誠実に行動する
Innovation 革新	イノベーションにチャレンジし、より良い未来社会へ貢献していく
Progress 改善・改革	改善・改革を積み重ね、本質的な進化を図っていく
Human Resources 人財	事業活動を通して、高い専門性やリーダーシップだけでなく、社会性も兼ね備えた人財を育む
Team 仲間	多様性のある仲間の知恵や能力により相乗効果が生み出される チームを作る

経営理念を実践するための価値観

経営戦略

中期経営計画

ONE 2030
Day One / Only One / Number One / One Team

基本方針

1. 半導体市場向け 樹脂事業の更なる飛躍
2. 産業機器関連事業 ニッチトップの進化
3. 真のグローバル企業へ
4. IT/DX技術による 独自の競争優位性確立
5. 攻めの サステナブル経営
6. 企業価値向上に繋げる 財務方針

具体的施策

健康経営

2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

健康経営推進の背景

●当社グループは、「サステナブル基本方針」を掲げ、事業を通じたサステナブル社会への貢献と、持続的な企業価値向上を実現するため、取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定しています。

●とりわけ「人財」は、 重要課題(マテリアリティ)への取り組みを支える最も重要な経営資本であり、従業員とその家族の健康は何物にも代えることのできない価値であると考え、健康経営を推進しています。

サステナブル基本方針

私たちPILLARグループは、社是・PILLAR CORE VALUESに基づき、事業を通じてサステナブル社会への貢献と、持続的な企業価値向上を実現してまいります。

(1) 事業を通じた地球環境への貢献

私たちは、独創的で高品質な製品を社会に提供することにより、豊かな地球環境創りに貢献します。また事業活動の過程で発生する環境負荷物質の低減に努めます。

(2) 社会に対する責任と貢献

私たちは、「企業は社会の一員」であることを自覚し、社会課題の解決に貢献します。また、すべてのステークホルダーとの対話を通じ信頼され続ける企業を目指します。

(3) コーポレートガバナンスの強化

私たちは、事業活動の原点であるグループ行動指針や法令遵守を徹底し、健全で透明性の高い経営を推進するため強固なガバナンス体制を構築していきます。

重要課題(マテリアリティ)(抽出)

マテリアリティグループ	重要課題(マテリアリティ)
多様な人財が成長・活躍できる職場の創出	12 労働安全衛生
	13 人権尊重及び多様性ある人財と働き方の推進
	14 人財育成と採用・定着



健康経営の対象範囲

従業員

経営資本

ご家族

従業員の健康を支える重要な存在

健康経営で解決したい経営上の課題

重要課題(マテリアリティ)への取り組みを支える人財の活躍促進

健康課題

① 健康意識の向上

② 心身の健康の向上

③ 働く活力の向上

健康経営目標

社員及びその家族が自ら健康意識を高め、①

すべての社員が心身ともに健やかに②働くこと③

健康経営の目標指標の考え方

●当社グループでは、健康経営目標の達成に向けて特定した健康課題の改善状況を客観的かつ継続的に把握するため、各健康課題に対応した目標指標を設定しています。

●目標指標を定期的に測定し、健康課題の改善状況を評価するとともに、その結果を施策の見直しや新たな取り組みの検討に活用することで、健康経営のPDCAサイクルを通じて継続的な改善を図っています。

健康課題と測定内容

① 健康意識の向上

知っている(Knowledge)、行動している(Action)

② 心身の健康の向上

メンタルヘルス、フィジカルヘルス

③ 働く活力の向上

貢献意欲、やりがい、誇り

健康経営目標

社員及びその家族が自ら健康意識を高め、①

すべての社員が心身ともに健やかに②働くこと③

目標指標

目標指標	概　要	測定項目	目標数値
Health Activity Score(HAS)	Health Activity Score(HAS)は、従業員の健康意識、メンタルヘルス及びフィジカルヘルスの状況を総合的に評価するための指標であり、「健康意識Score」「メンタルヘルスScore」「フィジカルヘルスScore」の3つのスコアから算出しています。 ・健康意識Score =「知識Score」＋(「行動Score」×重み付け係数) ・メンタルヘルスScore = 100%－「高ストレス者率」等の指標 ・フィジカルヘルスScore = 100%－「二次健康診断該当率」	①②	73 %
エンゲージメントスコア	エンゲージメントスコアは、従業員エンゲージメントサーベイにおける「貢献意欲」「やりがい」「誇り」のポジティブ回答比率から算出しており、人財戦略における目標指標として活用するとともに、健康経営においては、従業員が心身ともに健やかな状態で活力を持って働くことができているかを把握する指標として活用しています。	③	70 %

健康経営戦略マップ

PILLAR

健康投資

- 集団献血
- 健康診断の二次検査無償化
- 人間ドックのオプション補助
- 健康増進イベント
- 健康アプリ
- 連続休日の取得推進
- eラーニング研修
- 不妊治療のAMH無償検査
- 医療サポート制度
- 重病克服サポート制度
- オンライン診療制度
- EAP(従業員支援プログラム)
- 保健師健康相談室

etc.

様々な効果に関連する健康投資

・定期健康診断
・ストレスチェック
・産業保健スタッフの充実
・健康管理システムの活用

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況

- 集団献血利用率
- 二次検査費用申請率
- 人間ドックオプション利用率
- 健康増進イベント参加率
- 健康アプリ利用率
- 有給休暇取得率
- eラーニング研修受講率
- AMH無償検査利用率
- 医療サポート制度加入率
- 重病克服サポート制度加入率
- オンライン診療利用率
- EAP利用率
- 保健師健康相談室利用率

従業員等の意識変容等

- ① 顕在化健康リスクに対する自発的対応
- 健康診断の二次検査受検率
- ①② 積極活用(行動変容)に繋がる制度理解
- 「共感」スコア
  ※エンゲージメントの調査項目
- ①② 健康(心身)相談窓口の自発的活用
- 各種相談窓口の利用件数

健康関連の最終的な目標

- ②③ 心身の健康状態のﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽへの影響
- ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽScore・ﾌｨｼﾞｶﾙﾍﾙｽScore
- プレゼンティーイズム
- ① 健康施策の参加などの健康行動
  ヘルスリテラシー
- 健康意識Score

KGI

① ② Health Activity Score(HAS) 73 %

③ エンゲージメントスコア 70 %

KGI達成目標時期

・2031年3月31日

健康経営目標

社員及びその家族が自ら健康意識①を高め、
すべての社員が心身ともに②健やかに働くこと③

健康経営推進方針

・健康増進を重要な経営課題の一つとして位置付け
・組織の活性化及び持続的な企業価値向上の実現を目的
・労働安全衛生、働き方改革、ダイバーシティなどの各種活動と連携
・ESG/SDGs経営の一環として健康経営に取組み

社是 パーパス

社是

品質第一
和衷協力
一歩研究

パーパス

〝社会を支える〟未来を創る
CLEAN SAFETY FRONTIER

従業員の健康課題

① 健康意識の向上
② 心身の健康の向上
③ 働く活力の向上

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況

健康経営eラーニング正答率

方針実現の為の体制・環境

産業保健スタッフの割合

健康風土の醸成状況

「関係性」スコア
※エンゲージメントの調査項目